

塚脇F1号墳の出土遺物

# どき 土器

F1号墳では、須恵器を中心とした土器が石室の入り口付近から出土しています。

それらは、須恵器の坏・蓋・有蓋高杯・甗・提瓶・脚付直口壺・短頸壺で、土師器は無蓋高杯・直口壺がそれぞれ1点出土しています。



## つき ふた 坏 / 蓋

坏は現在の皿などにあたるもので、蓋とセットになっています。F1号墳では蓋の完形品と復元可能なものが14点、坏は5点出土しています。



## たかつき 高杯

高杯は坏に脚が付いたもので、蓋の付く有蓋高杯と蓋の無い無蓋高杯があります。F1号墳では須恵器の有蓋高杯2点、無蓋高杯3点、土師器の無蓋高杯が1点出土しています。



## はそう 甗

甗は液体を注ぐ器で、胴体の孔に注ぎ口となる竹つつをさして使われたものです。F1号墳では2点出土しています。



## ていへい 提瓶

提瓶は鏡餅形の胴体に注ぎ口と一對の突起がついたもので、この突起にひもをかけて吊るし、水筒のように使用します。F1号墳では1点出土しています。



## つぼ 壺

貯蔵用の壺は頸と口の長さや形で、長頸壺、短頸壺、直口壺などに呼び分けられ、脚のつくものもあります。F1号墳では土師器の直口壺が1点、須恵器の脚付直口壺が2点、短頸壺3点出土しています。

